

竹本 誠 議員

災害時支援協定



Q 締結事業者数の目標は

A 設定していない

質問(議員) 今年度の災害時支援協定締結事業者数の実績と目標数値は。
答弁(町長) 今年度は8企業と締結した。目標設定はしていないが、流通備蓄の提供企業や民間緊急避難施設を町内にバランスよく配置すること、未協定分野の業種との締結に取り組むことを目標としている。

質問(議員) 未協定の業種は何か。
答弁(町長) 多岐にわたるため示せないが、現在、一時避難場所・避難所運営に必要な食料・飲料水・資機材などを中心に協定締結を進めている。



みんなで「助け合う 支えあう」

Q 見直しの時期ではないか

A 意向調査等検討する

質問(議員) 例年この時期になると敬老祝品として海苔が送られてくる。体調の悪いときや一度に同じものばかり食べられないなど、苦情を聞くことがある。そこで現金支給をするかバス・タクシー券などを出し、お年寄りの外出を促してはどうか。孫の小遣いや友人の見舞いなどに充てることができると思うので、対象者の意向調査をしてはどうか。

答弁(町長) 現金支給をしている市町もあるが、当町としては、敬老の意を表するため特産品の海苔をお贈りしている。現在のところ現金支給は考えていない。また、バス乗車券やタクシーチケットの配布などは今後研究していく。意向調査についても、カタログ方式を含め研究していく。

前田 勝男 議員

敬老祝品



さらなる長寿を願って

東員町と阿久比町の
陸上競技場を視察(建設産業委員会)

調査地 三重県東員町・愛知県阿久比町
調査日 平成29年7月12・13日
調査事項 陸上競技場について ほか

一般質問において議員より提案があり、現在検討がなされているスポーツ選手育成のためのグラウンド整備について参考とするため、東員町と阿久比町の陸上競技場の設立経緯や現地の視察を行いました。

東員町の陸上競技場は、現在日本競技連盟による公認を受けています。この公認を受けることで日本陸上競技連盟公認の競技会を開催することができ、トラックの補修や備品の整備などに多額の費用を要することです。このため、5年ごとに必要となっている公認の更新を、次回は行わない予定であるとの説明を受けました。



阿久比町の陸上競技場

に、費用などの理由により公認を受けていないとのこと。今回の視察で学んだことを、今後のグラウンド整備の検討などに活かしてまいります。

ネウボラ事業について

南部町を視察(福祉厚生委員会)

調査地 鳥取県南部町・兵庫県明石市
調査日 平成29年7月25・26日
調査事項 ・・・ネウボラ事業について ・・・子ども養育支援事業について ほか

今年の10月からひまわりプラザで開設する「かいた版ネウボラ」の参考とするため、南部町を視察しました。南部町では、ネウボラ事業を本町より約2年前から開始しており、子育て世帯に対し、きめ細やかな支援を行っていました。南部町で起きた事例を本町でも起こりうる問題として捉え、ネウボラ事業を円滑に行えるよう今後も注視してまいります。

一方、明石市では、ひとり親世帯が増加傾向にある現代において、離婚時に子どもの立場に立って支援を行う「離婚前後のこども養育支援」と第1子の児童の年齢や所得にかかわらず、第2子以降が保育所や幼稚園などの施設を利用する場合の保育料の完全無料化について視察し



南部町での調査

ました。明石市の先進的な取組ではあるものの、本町でできることを研究し、費用対効果も含めて今後の子育て施策に活かしてまいります。